

あの「広場」に名前を付けてあげませんか？

土肥真人 東京工業大学社会理工学研究所

今度のワークショップでは、コンカリーニョとサポポタワーの間にある「広場」について、どんな風に使えるのか考えてみました。

というのも、あの広場は強いポテンシャル（可能性）をもっていると思えるからです。特に子供たちは夢のような提案をしてくれました。

広場の真ん中には大きな木が枝をひろげ、その回りにはすべり台、シーソー、ブランコなどの遊具、古い電車、そして一輪車の練習をするコンカリーニョの壁があります。

敷地を囲む回廊空間には、水が流れカモが泳ぎ、お花畑に花が咲き、遊園地では子供たちが歓声を上げています。

大人のためのレストランやカフェや露天風呂（！）、ペットのためのペトトショップなどが、アイスクリームやケーキ屋さんと並んでいます。

子供たちの想像力を通して、あの広場や敷地のオーブンスペースに耳を傾けると、子供や大人の笑い声、動物の鳴き声、風に揺れる葉ずれの音、それらがさんざめき広場を満たしています。

ところで、あの広場は誰にも構われずにほっておかれると、悪い意味でのポテンシャルを発揮してしまうかもしれないと思います。

通りのほうへ絞り込まれた形や見通しの悪い通路、壁に囲まれ、上階からの人の視線の少ないことは、危険な場所の条件でもあるのです。

特に施設の老朽化と共にそのような危険は増します。

皆さんであの広場と一緒に楽しく使うことは、この点からとても大切なことです。

さて私は今回参加された方々に、「ところであの広場の名前はなんというの？」と訊いてみました。

ところが特に名前はないようで、皆さん「あの広場」「コンカリー前広場」など漠然と呼んでいるとのことでした。

あまりに身近な空間だから名前なんか無くても不便は無いですよね。

でも、名前があればもっと特別な場所になると思うのです。だから、皆さんぜひあの「広場」に名前を付けてあげませんか？

参加者の声

『空間を活かす...と考えたことがなかったの、意見を求められてもなかなか思いつかなくて、頭をやわらかくしなければ...と思ったことと、地域活動に参加したことがなくて、社会生活が欠けていたことを痛感しました。アンケートは反省ばかりですが、参加している時間は制約なく楽しかったです。』(40代 女性)

『たのしかった。ゆうえんちとか、かいたのがたのしかった。』(小1 女子)

『すごく楽しかったです。ワークショップって慣れてないので、少しビビりましたが、やってみると楽しいな。最初のちずさん(注:コンカリーニョ理事長)のリードがとても自然で素直に入っていました。こんなワークショップだったら、またやってみたいです。』(60代 女性)

『さいよは、きんちようしたけど、あちからずとやると楽しかったです。』(小学生 女子)

『WSは、慣れていると思っていましたけど、住んでいる方々の自由な発想に圧倒されました。まだまだ私自身、勉強が必要だと思います。マンシヨンの方々は高齢の方が多くいたいなので、世代にあわせたメニューがあると思集まりやすいと思います。健康講話とか。』(40代 男性)

『楽しかったですよ！』(30代 女性)

『さいよは、なにをやるのかとおもいました。でも、さいごになるとたのしかったです。』(小学生 女子)

『いろいろな方面から琴似のまちを見るとき、本当にいろんな面が見えてきます。琴似は楽しく、大好きなまちです。でも、だんだん古い建物、古い人が少なくなり、新しいビル、新しい店(大型店)が進出してきて、少なさびしい思い出が少なくなります。古い昔の小売店もほとんど閉店し、思い出が少なくなっていく気がします。』(50代 女性)

『今日出たアイデアのひとつでも実現できるといいな。』(40代 女性)



<コミュニティデザイン ワークショップ>

こんなコミュニティで暮らしたい！

～自分たちでデザインする方法と技術～

結果報告



特定非営利活動法人

コンカリーニョ

札幌市西区八軒1条1丁目ザ・タワープレイス1F

TEL 011-615-4859

琴似・八軒 みごとに大発見！

みんながよく行く所、良い所、悪い所を地図に書きました。



〇〇〇広場？を考えよう

各グループ毎にコンカリーニョ前の広場で何が考えました。

夏チーム



「夏チーム」の提案です。
夏には何が考えられますか？
ビアガーデンなどができるでしょうか？
知-プレイス(商業棟)とマンションの間にはとても強いビル風が吹きます。この風を利用して風力発電に利用したり強風運動会?などのイベントをするのも面白いかと思えます。建物の周りにはもつと自然があればいいなと思います。

秋チーム



「秋チーム」の提案です。
秋はやっぱり収穫祭ですよ。建物の周りに畑を作って野菜を育てる！
コンカリーニョの前の広場でBBQ食べたら今度はフオーグダンス！普段はそこでパークゴルフなんかもできるといいね。商業棟と駐車場を繋ぐ空中歩廊は殺伐としているしギョギョーや売店があるといいかも。
防犯上もいいと思うよ。
広場の名前は...食べたり踊ったりするところだから『健康広場』とか！
建物の隙間の広場だ！ストレートに『スキマの広場』なんてどう？

こどもチーム



こどもグループのていあんです。
だてものまわり、かわかひがはかヌーでいようよ。
かども、きんでいようよ。
だからコンカリーニョのまえは「かまこうえん」ってなまえにしようよ！
あつきのゆうぐもたくさんあって、でんじやもあるよ。
いまでもここにいりんしゃのれんじゅうをしいるよ。
だてものには、うてんぶろもあるよ。
あつあつ、うてんぶろのあるホテルにしよう。
ひろばにはおおきなきか、おはなばけけんもあつよ。
だべものやさん、アイスやさん、かきやさんなどか...

図作成：東京工業大学 土肥研究室



去る3月11日、琴似タワープレイス1階にある生活支援型文化施設コンカリーニョにて、琴似・八軒の住民のみなさんを主な対象としたワークショップが開かれました。皆さんは自分の部屋のインテリアや使用した経験がなかったらどうなるのでしょうか。また自分の空間なんだと考えたらどうでしょうか？ きつとより楽しい場所が生まれるかもしれません。そんな思いから今回のワークショップを企画しました。

講師にはまちづくりなどを専門としておられる東京工業大学の土肥先生を招きました。当日は20数名の参加があり、子供たちのグループも含め3つのグループを作り作業を進めました。ワークショップの内容は2本立てです。最初は自分たちのまちにはどんなところかを知るため、好きなところ、嫌いなところ、よく行くところなどを地図に落とし込みながらグループで話し合ってみました。改めて話してみたら、皆で話して来たこと以上に新たな発見がいろいろと見えてきたことかと思えます。八軒と琴似は隣接したエリアですが、意外と意識の上では二つのエリアの住民間で実際に離れているような感じがしました。また後半は対象をぐっと絞ってコンカリーニョとマンションの周辺で何をしたいか。どうしたいかということのアイデアを出してみました。大人も子供も共通しているのは「自然」と「食」に対するものが多かったのが印象的でした。共に人間にとつてとても大切なものでありながら、都市生活では軽視されがちなものであり、わかるようになる気がしました。

みんなが思いを馳せているとその思いはいつの日か現実になるのではないのでしょうか？そしてそれはきつと充実したまちになることでしょうか。今後ともこのようなまちをみながら考えを継続していきたいと考えています。次回も皆さんと新たな関係がつかうことができると考えております。